

# 北海道食の輸出拡大戦略推進状況報告書

平成28年10月  
北海道

## 1 輸出実績（現状）

平成28年上期（1月～6月）の道産食品の輸出額は277億円（前年同期比25.7%減）となった。

水産物・水産加工品の輸出額は、ホタテガイの減産などの影響で輸出量が減少したことにより前年同期比34.2%減となった。一方、農畜産物・農畜産加工品は、台湾・韓国向けのタマネギの輸出等により45.2%増、その他加工食品は企業の海外進出に伴う香港やタイ等向けの菓子類の輸出増加などにより88.3%増となった。

### 【品目別】

（単位：百万円）

項目	H27年	H27年上期	H28年上期	増減率	主な増減品目
水産物・水産加工品	68,873	34,181	22,492	△34.2%	ホタテガイ13,136（41.1%減）
農畜産物・農畜産加工品	3,794	1,444	2,097	45.2%	タマネギ616（136倍）
その他加工食品	4,598	1,647	3,102	88.3%	菓子類2,119（101.5%増）
合計	77,264	37,272	27,691	△25.7%	

注:1) 「増減率」は千円単位で計算。端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

2) 「主な増減品目」は、H28年上期の輸出額と対前年同期の増減率。下表も同様。

### 【主な地域別】

（単位：百万円）

地域	H27年	H27上期	H28上期	増減率	主な増減品目
ASEAN	11,012	5,885	3,912	△33.5%	ホタテガイ1,328（66.8%減）、サケ1,060（38.4%増）
中国、台湾、香港、韓国	51,642	26,519	19,999	△24.6%	ホタテガイ8,967（40.3%減）、タマネギ603（皆増）
ロシア	937	446	225	△49.6%	その他の水産物145（47.4%減）、チョコレート21（30.1%増）
欧米(除ロシア)	12,123	3,834	3,395	△11.5%	ホタテガイ2,759（15.4%減）、パスタ・麺類36（61.7%増）
中東	18	5	36	7.6倍	チョコレート20（8.5倍）

#### 【参考：ホタテガイの生産状況等】

ホタテガイの平成28年上期の生産量は122,000トンで前年同期比36.1%減〔北海道水産現勢（速報値）〕。同期間の輸出量は22,031トンと前年同期比55.8%減。早期の生産回復に向けた海洋環境の変化に対応した災害に強い漁場づくりや養殖技術の指導強化に加え、高付加価値商品の販路拡大などに取り組んでいる。

#### 【参考：為替相場】

外国為替市場の状況は、平成28年1月以降円高が進行し、平成28年6月の平均為替相場は1ドル105.44円。これは、平成26年の平均為替相場（105.83円）と同水準。

## 2 取組状況

### 道等の取組状況（平成27年4月～平成28年8月）

#### ○基本戦略

戦略	取組項目	主な取組状況
商流・物流網の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■商流確立に向けた支援</li> <li>■物流機能の整備・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○品目ごとに関係者が連携して取り組む農畜産物のテスト輸出や商談会の開催<sup>⑳</sup></li> <li>○国際航空貨物の輸送促進等調査<sup>㉑</sup></li> </ul>
輸出支援体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>■輸出可能な商品の生産・製造の拡大</li> <li>■道や関係機関・団体・企業の連携による輸出支援体制の確立</li> <li>■北海道ブランドの浸透など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一次産品の安定生産に向けた取組<sup>㉒</sup><sup>㉓</sup></li> <li>○道産食品輸出拡大戦略推進協議会の設置<sup>㉔</sup></li> <li>○海外アンテナショップでのテスト販売及びプロモーション<sup>㉕</sup></li> </ul>
新たな市場への展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>■食材輸出の拡大</li> <li>■イスラム圏市場の需要獲得</li> <li>■機能性食品の販路開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現地の料理関係者を集めた日本の食材と食文化のプロモーション<sup>㉖</sup><sup>㉗</sup></li> <li>○生産者団体との連携によるブリ、サバ、イワシやサケの高次加工品を主体とした市場調査や製品PRなど販路開拓の推進<sup>㉘</sup></li> <li>○イスラム圏市場の開拓や機能性食品、スイーツのテスト販売・商談会<sup>㉙</sup></li> </ul>

#### ○品目別展開方向（推進プラン）

##### (1) 水産物・水産加工品

重点品目	推進プラン	主な取組状況
ホタテガイ	ブランド保護による既存輸出先の販路維持【中国等】	生産者団体による中国における実態調査や商標保護等ブランド保護対策の実施 <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup>
	高付加価値市場向け販路開拓【EU、アメリカ等】	ホタテの生産回復の取組 <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> 海域モニタリングを実施するとともに、国の施策の活用、水産加工業者を対象とした講習会の開催による対米・対EU-HACCP認定取得の促進 <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup>
サケ	加工原魚向け安定的な販路の確保と高付加価値市場の開拓【中国、ASEAN、EU等】	資源回復に向けた調査・研究を進めるとともに、国の施策の活用や水産加工業者を対象とした講習会の開催による対米・対EU-HACCP認定取得の促進 <sup>㉡</sup> 産業団体と連携したASEAN向けの販路開拓 <sup>㉢</sup>
高次加工品	新規販路の開拓【シンガポール、タイ、香港、台湾、中国等】	生産者団体と連携し、シンガポール、タイ、マレーシア、香港において秋サケ加工品などの市場調査、製品PR <sup>㉣</sup>
高鮮度商材	アジア富裕層向け販路開拓（飲食店）【シンガポール、香港、中国等】	生産者団体との連携によるブリ、サバ、イワシを主体とした市場調査や製品PRなど販路開拓の推進 <sup>㉥</sup> SIACTにおける国の施策を活用した機能強化や24時間操業の試験の実施 <sup>㉦</sup>

##### (2) 農畜産物・農畜産加工品

重点品目	推進プラン	主な取組状況
コメ	ASEAN・東アジアにおける販路拡大【香港、シンガポール、タイ、インドネシア等】	生産者団体によるミネラルウォーターと無洗米のセットによる販売・プロモーションと、現地拠点（道ASEAN事務所・シンガポール）における取組の支援 <sup>㉧</sup> 関係者が連携して取り組むテスト輸出の実施 <sup>㉨</sup> 道・ホクレン・ぎょれんの連携による日本食プロモーション <sup>㉩</sup>
	コメ加工品（日本酒）の販路拡大【シンガポール、香港、中国等】	酒類メーカーと連携したシンガポールにおけるプロモーション <sup>㉪</sup> 国関係機関や関係団体により構成する北海道産酒類振興連絡会議と連携した輸出促進施策に係る情報共有 <sup>㉫</sup> <sup>㉬</sup> 関係者が連携して取り組むテスト輸出の実施 <sup>㉭</sup>
	中国市場の販路構築【中国】	道・ホクレン・ぎょれんの連携による北京市内での日本食プロモーション <sup>㉮</sup>
青果物	ナガイモに係る販路拡大【アメリカ、シンガポール、マレーシア、台湾等】	地域におけるアメリカやASEAN向けのプロモーションへの支援 <sup>㉯</sup>
	青果物に係る販路拡大【台湾、シンガポール、香港等】	GAPの産地への導入等の推進及び輸出向け集出荷施設の整備による輸出体制の整備 <sup>㉰</sup> 道・ホクレン・ぎょれんの連携するプロモーション <sup>㉱</sup> 台湾、韓国に向けた道産タマネギの販路拡大 <sup>㉲</sup> 関係者が連携して取り組むテスト輸出の実施 <sup>㉳</sup>
牛肉	ASEAN向け販路拡大【シンガポール、タイ、ベトナム等】	シンガポール向け輸出食肉取扱施設認定の支援 <sup>㉴</sup> <sup>㉵</sup> 関係者が連携して取り組むテスト輸出の実施 <sup>㉶</sup>
	新規市場向け販路構築【アメリカ等】	対米輸出に対応する食肉加工センターの整備 <sup>㉷</sup> （北海道畜産公社十勝工場） 米国向け食肉検査業務体制を整備し輸出施設の認定申請に向けて助言指導 <sup>㉸</sup> UAE向け輸出食肉取扱施設認定の支援 <sup>㉹</sup>

(3) その他加工食品

重点品目	推進プラン	主な取組状況
菓子類	新規・成長市場向け販路拡大【香港、台湾、シンガポール、タイ、中東等】	菓子メーカーの輸出機運醸成に向けたフォーラムの開催及び海外バイヤーを招へいた商談会⑳ 海外アンテナショップによるマーケティング支援㉔
	既存市場におけるブランドの再構築【中国、韓国、ロシア等】	現地事務所における情報発信支援㉑㉔ 女性起業家を対象にしたイベントにおける道産スイーツのプロモーション㉑
機能的食品	成長市場向け販路開拓【ASEAN、香港、台湾、中国、アメリカ等】	ASEAN、東アジア主要国に向けた市場環境や規制に係る調査㉑ どさんこプラザ札幌店などにおけるインバウンド向けプロモーション㉑㉔

○国・地域別展開方向

国・地域	主な取組状況
ASEAN	現地事務所（ASEAN事務所）や現地に配置するアドバイザーを活用した商談支援やプロモーション㉑ 市町村、地域の企業、生産者などが一体となった輸出拡大の取組の支援㉑㉔
中国、台湾、香港、韓国	道・ホクレン・ぎよれんの連携による日本食プロモーション（北京）㉑ 市町村、地域の企業、生産者などが一体となった輸出拡大の取組㉑㉔
ロシア	現地事務所（サハリン事務所）を活用した道産食品の認知度向上に向けたプロモーション㉑㉔ 北極海航路の活用に向けた調査㉔
欧米	水産物における対米・対EUのHACCP認定取得の促進㉑㉔ 米国向け牛肉と畜・加工施設の整備及び輸出食肉取扱施設認定の支援㉑㉔ 市町村、地域の企業、生産者などが一体となった輸出拡大の取組の支援㉔
中東	UAE・トルコにおけるビジネスマッチングや牛肉のと畜・加工施設の輸出施設認定の支援、牛肉のテスト輸出㉑㉔

○テーマ別展開方向

テーマ	主な取組状況
道産食材輸出プロジェクト	農水産物の輸出施設の認定取得や産地における輸出向け施設の整備など輸出体制の構築を推進㉑㉔ 農畜産物の輸出拡大に向けて関係者が連携して取り組むテスト輸出や商談会、現地でのプロモーションの実施㉔
高付加価値食品輸出プロジェクト	道産スイーツの輸出拡大に向けた、インバウンド向けのwebサイト、パンフレットの多言語化や機運醸成、海外バイヤー招へい、テスト輸出、現地商談会、アンテナショップなどの事業の連動による、輸出・お土産需要両面からの海外需要取込みや事業者の拡大㉔
新市場開拓プロジェクト	イスラム圏市場に向けた、牛肉のテスト輸出や現地での商談会から得られた輸出拡大の知見に関する説明会等を通じた道内企業との共有、セミナー・個別相談会、テスト輸出、現地商談会・プロモーション、牛肉の輸出品目の拡大など一層の輸出拡大の促進㉑㉔
共同物流システムプロジェクト	H27年度に実施した共同物流のモデル事業の成果を生かすとともに、国の事業を活用した鮮度保持物流網の構築や港湾管理者・新規航空路線開設者等と連携したより効率的な新たな物流ルート開拓の検討㉑㉔

○連携推進体制

平成28年6月、一次産業や食品加工業をはじめ関係機関で構成する「道産食品輸出拡大戦略推進協議会」を設立するとともに、効果的な支援体制の構築に向けた「海外販路開拓支援プラットフォーム」を設置。

### 3 道内の動き（現状）

#### （１）輸出施設の整備

○水産食品のHACCP認定施設～対米輸出施設が新たに1か所認定（平成28年3月）

○海外向け生果実登録施設～台湾向けりんごの選果こん包施設として初めて2か所登録  
（平成28年6月）

○と畜場～シンガポール向け牛肉の輸出食肉取扱施設として初めて1か所認定（平成28年8月）

#### 【主な認定等】

対米・EU水産食品HACCP認定施設	H26年末現在71施設→H27年末現在80施設→H28年6月末現在80施設
台湾向けりんご選果こん包施設登録	H26年末現在0施設→H27年末現在0施設→H28年6月末現在2施設
牛肉の輸出食肉取扱施設認定	H26年末現在3か国→H27年末現在5か国→H28年8月末現在6か国

#### （２）企業等の状況

海外向けの商談会の参加企業数や産地証明書の発行枚数が増加しており、輸出に取り組む企業のすそ野が拡大。

海外向け商談会参加企業数	H26年度	273社	→	H27年度	353社
産地証明書の発行枚数	H26年度	3,000件	→	H27年度	3,900件

#### （３）積極的な海外展開（事例）

○スラリーアイスを用いた生鮮水産物の高鮮度流通実証（函館地域産業振興財団ほか、輸出先：台湾）～脱水スラリーアイス製造技術と専用発砲容器を開発し海外に向けた輸送試験を実施。

○道産無洗米のシンガポールの消費者に向けた販路開拓（ホクレン、輸出先：シンガポール）～貴重な資源である水と節水効果の高い無洗米をセットで販売。

○現地精米による高品質な北海道米の販売（ワッカジャパン、輸出先：ハワイ、シンガポール、香港、台湾）～玄米で輸出し、現地精米拠点での精米により、高品質な北海道米を提供。

○焼きたてチーズタルトの海外販売（BAKE、輸出先：中国、台湾、香港、韓国、タイ、シンガポール）～店舗を海外に展開し、輸出した冷凍半製品を現地で調理・販売、1年弱で1店舗→9店舗に増加。

○ヨーロッパに在庫拠点を設置し現地で販売（西山製麺、輸出先：ドイツ、アメリカ、シンガポール、香港、UAE等）～欧州向けには海上コンテナでまとまった量をドイツの現地拠点に輸出。

○技術の指導と併せた地域の水産加工品の認知度向上（釧路商工会議所、輸出先：ベトナム）～JICAの事業と連携し、ベトナム・ダナン市において水産加工に係る衛生管理・品質管理に係るセミナー開催や鮮度保持海水技術等の紹介など、水産加工に係る地域の技術を現地に紹介しながら併せて地域の水産品のPRを実施。

## 4 課 題

平成28年1月～6月の輸出額が前年同期比で落ち込み、また、円高など国際経済情勢の変化がみられる中、道産食品の輸出拡大に向けて、減少額の大きい水産物・水産加工品については、安定生産に向けた取組を進めることにより生産量の回復を図るとともに、水産物・水産加工品はもとより、伸びている農畜産物・農畜産加工品、その他加工食品については、輸出施設等の国際認証の取得や北海道ブランドの一層の浸透を図ることにより輸出額の増加を加速させ、さらに、輸出に取り組む企業等の一層の拡大や、安定的・継続的な販路の構築を進めることが求められている。

- ① 一次産品の安定生産と農畜産物、加工食品の輸出拡大
- ② 輸出に取り組む企業等のすそ野の拡大
- ③ 物流コストの低減
- ④ 継続的な取引の拡大
- ⑤ 北海道ブランドの浸透

## 5 展 開 方 向

「北海道食の輸出拡大戦略」の確実な達成に向けては、現状や課題を踏まえ、次のような取組の積極的な展開など、基本戦略や品目別、国・地域別、テーマ別展開方向に掲げる施策を推進する。

### ◆ 商流・物流網の整備

- 継続的な小口混載貨物ルートの構築促進や鮮度保持技術の活用など輸出物流システムの整備・充実 (③)
- 空港・港湾の機能の強化及び物流ルートの開拓 (③)
- 商談会とアドバイザーによるフォローアップの連動や海外アンテナショップの活用など継続的な商流構築に向けた企業等の支援 (④)

### ◆ 輸出支援体制の確立

- 一次産品の安定生産に向けた生産基盤の整備や一次産業の競争力強化 (①)
- 国際認証取得の一層の促進 (①)
- 食クラスター活動やフード特区の取組みによる地域における食品の高付加価値化や商品開発の促進 (②)
- バイヤー招へいに係る地域間連携など地域間・産業間連携の強化 (②)
- 市町村、企業、生産者など地域が一体となった輸出拡大の取組の支援 (②)
- 地域の魅力をまるごと発信するプロモーション (①、⑤)

### ◆ 新たな市場への展開

- 新たな輸出品目の販路開拓 (①、⑤)
- 地域の魅力をまるごと発信するプロモーション (再掲) (①、⑤)